

企業のリーダーシップのあり方に関する研究 —警察官の視点から—

名古屋経済大学経営学部
徐誠敏ゼミ(ポジベーションゼミ)

17-7098 富永浩太



1-1、リーダーシップを選んだ理由と問題意識

・4月から警察官になる。

職務を行う上でチームワークがとても大切。
チームで行動する以上リーダーの役割が大切。



経営学のリーダーシップは警察組織に応用できる。





1-2、目的

- ・経営学のリーダーシップ論は様々な研究が行われている。

企業経営において**リーダーの役割**がとても重要視されている。



リーダーの立場、フォロワーの立場、**両方の視点**から知ることによってこれから仕事をしていく上で役に立つ。



2-1、リーダーシップ論について

- 1、リーダーシップ論とは
- 2、自己リーダーシップ・共有リーダーシップ
- 3、サーバントリーダーシップ
- 4、カリスマ型リーダーシップ
- 5、トランスフォーメーション型リーダーシップ





1、リーダーシップ論とは

定義

Stogdill(1950)によると

1、集団 2、共通の仕事 3、責任の分化の3点をあげて



目標を設定、達成しようと**集団活動に影響**を及ぼす行為。



ドラッカーの著書「プロフェッショナルの条件」

定義

- ・リーダーシップとは
組織の使命を考え抜き、**目に見える形**で明確に確立する。
- ・リーダーとは
目標を定め、優先順位を決め、基準を定め、**維持**する。





2、自己リーダーシップ・共有リーダーシップ



自己リーダーシップ

定義

Manz and Sims(1989)によれば

自分で目標設定し、自己に働きかけ、自分自身に報酬と罰を与える過程。



いつまでも自己リーダーシップが望ましいわけではない。

自身が判断できる領域とリーダーの指示が必要な領域を区別する。





共有リーダーシップ

定義

Pearce and Conger(2003)によれば

自己リーダーシップの進んだ段階。

個別にリーダーシップを発揮する段階。



互いに働きかけあいながら職務を執行する段階。

チームの有効性に影響力があり、**垂直的**影響もある。





3、サーバントリーダーシップ

サーバントとは？

「使用人」・「召使い」という意味。

他人の為に仕えようとするのが前提になる。

定義

Greenleaf Center Japanによると「まず相手を奉仕し、その後相手を導くものである。」→フォロワーが働きやすい環境を作る。**フォロワー優先**

従来 フォロワーを導くのみ

サーバント フォロワーの奉仕→フォロワーを導く





4、カリスマ型リーダーシップ

定義

House & Baetz(1979)によれば

深く**並外れた効果を及ぼす**ことができる個人的な資質を持ったリーダー

特徴

1、預言的リーダー行動 2、有能さと信頼性のイメージづくり行動 3、知下の有能さと自信を鼓舞する権威付け行動 4、リスクテイキングと自己犠牲行動 5、知的刺激行動





5、トランスフォーメーションリーダーシップ



変革型リーダーシップとも呼ぶ。

定義

桑田・田尾(1998)によれば

フォロワーを動員することより相互依存的な関係を重視する。



フォロワーの信念、ニーズ、価値をリーダーが望む方向に入れ替える。

習得できるものではなく**個人的な資質**によるところが大きい。



3-1、警察組織の特徴

・国

内閣総理大臣



国家公安委員会(国務大臣、委員5名)



警察庁 都道府県警察を指揮監督

・都道府県

都道府県公安委員会



都道府県警察



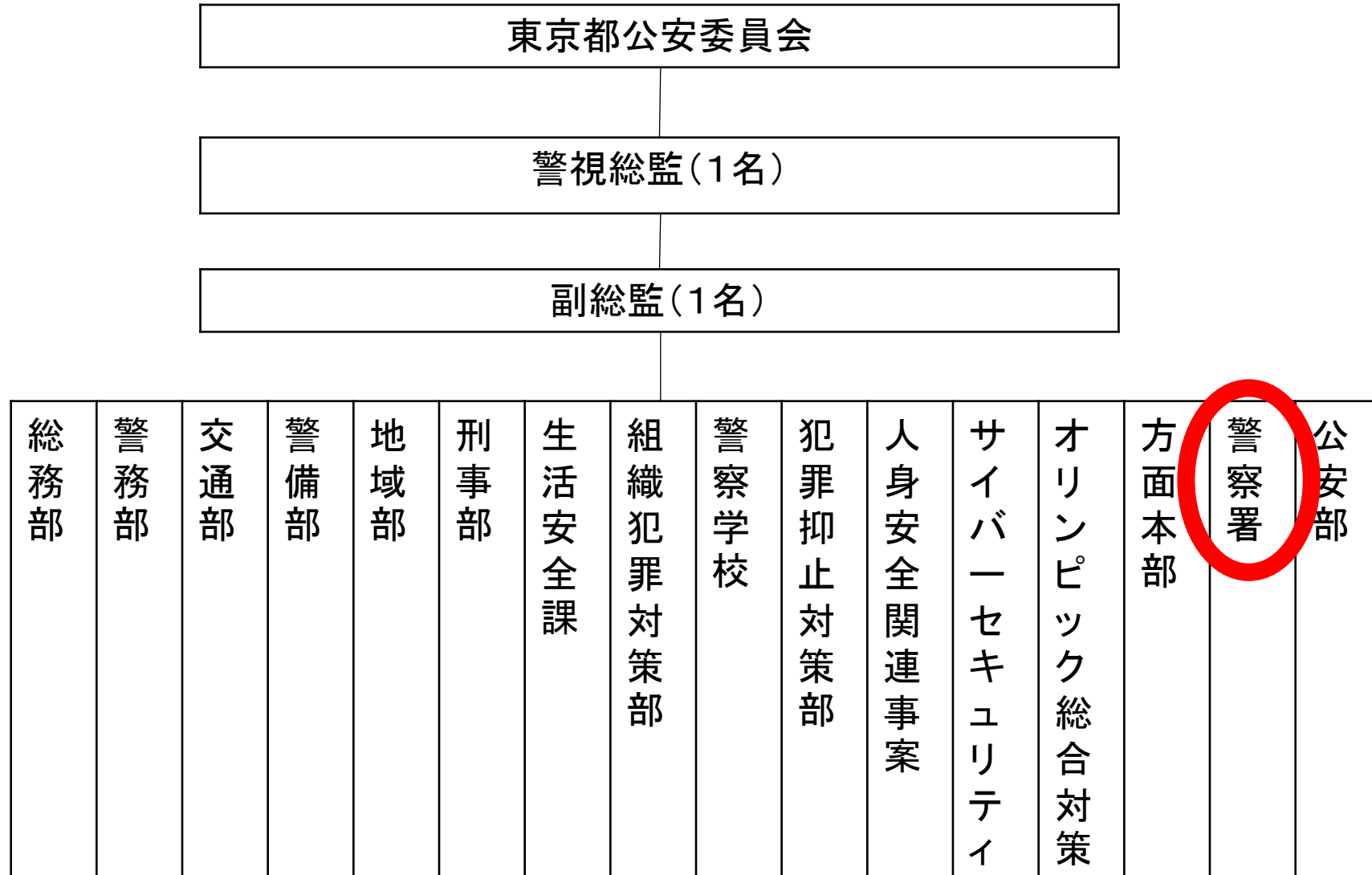
警察本部、警察署



交番、駐在所

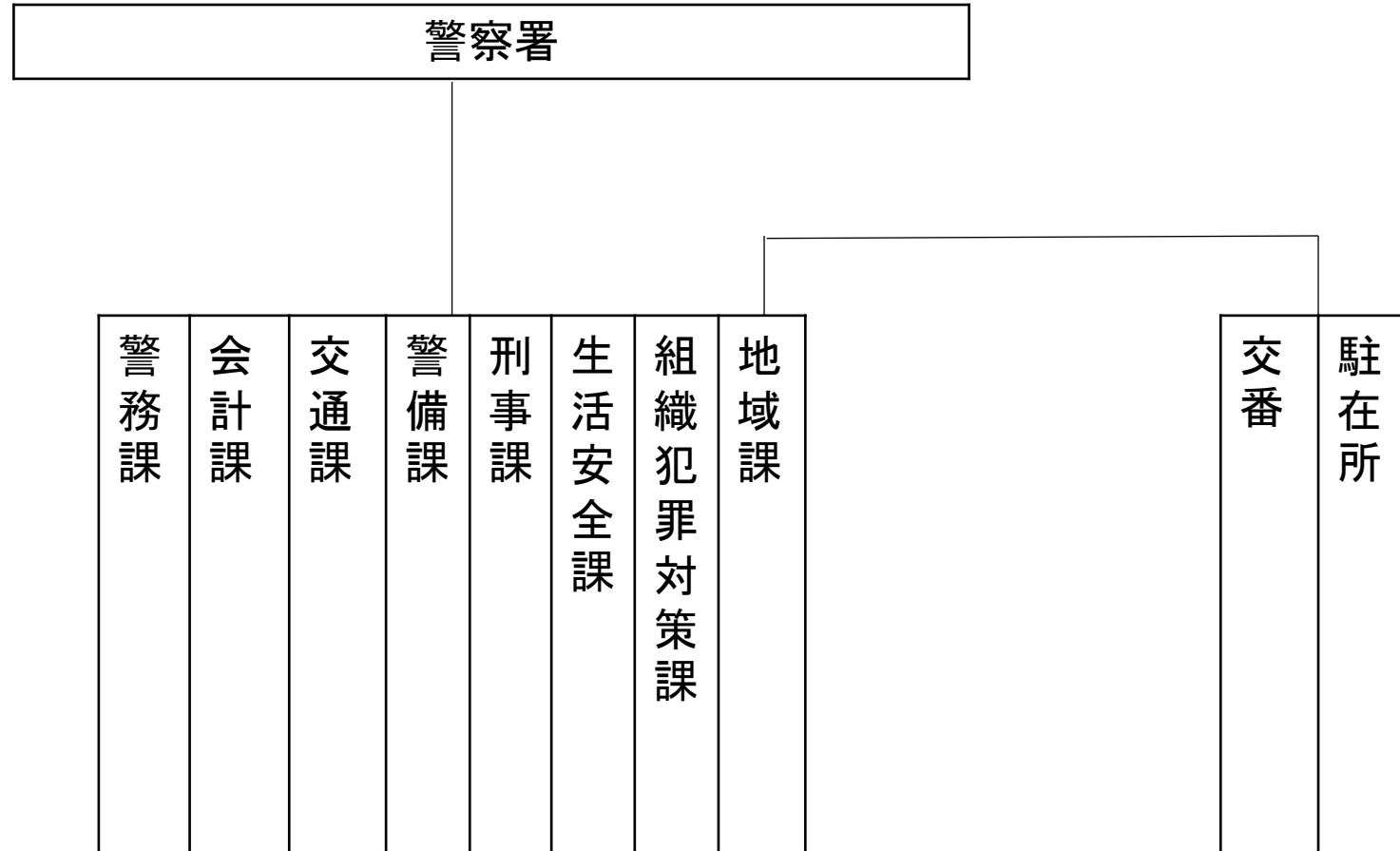


警視庁の組織図





警察署の組織図



特徴

- 警視庁トップは、**監視**、**責任**を負う立場。
一般企業とトップの役割が少し違う。
- 各部署が**独立**した形に近い。
横一列に表記されている→部署の立場は平等。



3-2、事件・事故とリーダーシップの関連の考察

1、事件・事故の種類

刑事課	殺人、強盗、窃盗等の犯罪、拳銃、覚醒剤、暴力団の取締り
交通課	交通指導取締り、交通事故捜査
警備課	テロ・ゲリラの取締り、警衛・警護
地域課	山岳遭難、水難救助
生活安全課	特殊詐欺、サイバー犯罪

2、事例とリーダーシップの関係性の考察

- 秋葉原無差別殺傷事件(平成20年6月8日)
- 東名高速夫婦死亡事故(平成29年6月5日)
- 御嶽山噴火(平成26年9月27日)



1、秋葉原無差別殺傷事件

概要

東京都秋葉原の歩行者天国の交差点にトラックが突入。

犯人がダガーナイフで通行人を次々と襲う。

7人が死亡、10人が重軽傷を負った。

事件後にダガーナイフ所持を禁止する改正銃刀法が施行された。

※「犯人が現場から逃走した」と仮定し考察していく。





- ・現場到着直後→自己リーダーシップ

現場は、混乱しているので信頼できる警察官の行動がフォロワーである市民に影響を与える。

初動の対応が遅れれば被害が拡大する可能性もある。

応援が到着後、本格的な捜査が始まる。

様々な事柄に分かれて行動する。→全体を指揮する人が必要。

- ・全体の指揮→カリスマ型リーダーシップ

- ・現場の指揮→サーバントリーダーシップ





カリスマ型リーダーシップ→フォロワーに深く並外れた効果を及ぼす。
信念が道徳的に公正であるという強い確信も持つ。



フォロワーへの影響が大きい。

現場を指揮するわけではない→フォロワーの気持ちを**喚起、知的刺激**する声を掛けられれば良い。

サーバントリーダーシップ→現場の捜査員の**モチベーションを維持**。

モチベーション=**捜査の進行速度**

早く犯人を捜すことが必要なのでフォロワーを一番に考えられるリーダーが適している。





2、東名高速夫婦死亡事故

概要

神奈川県大井町の東名高速道路でトラックがワゴン車に追突しワゴン車に乗っていた夫婦が死亡した。

逮捕された男は、トラックの運転手ではない。

事故前にパーキングエリアで駐車方法を注意され事故直前にワゴン車を停止させ事故を誘発させていた。

「あおり運転」を処罰する「**妨害運転罪**」ができるきっかけ。





- 現場到着直後→自己リーダーシップ

初動の対応がとても重要。

高速は、車が止まらない→二次被害が発生しやすい。

素早く行動する事が必要。

事故原因が何かを捜査していく→現場の指揮のみで良い。

- 現場の指揮→サーバントリーダーシップ

フォロワーのモチベーション維持＋フォロワーの育成

犯人は捕まっているので焦る必要はない。

原因を究明しながら実践での経験を活かせるように働きかけるリーダーの行動が必要。





3、御嶽山噴火

概要

岐阜県と長野県の県境にある御嶽山で噴火が発生した。噴火警戒レベルが1の状態での噴火した。火口付近に居た登山者が58名死亡、5名が現在も行方不明。戦後最大の火山災害。

噴火警戒レベル1→火山活動は静穏で火口内への立ち入りが出来ないだけであとは制限なし。

活火山を研究している人も予期できず被害が大きくなる。

県をまたいでいるので両県が協力し合う必要もある。





特殊なケースで一般の警察官でなく山岳救助隊が向かう。

- ・山岳救助隊→共有リーダーシップ

個人で発揮するリーダーではなく互いに働きかけるリーダー
山のプロなので自分がやるべき役割仕事分かっている。



チームでの有効性が高い共有リーダーシップを用いる。

- ・全体の指揮→カリスマ型リーダーシップ

フォロワーへの影響が大きい。

2つの県が協力する→フォロワー数が増えるので
1人1人に影響が及びにくい。





自然災害は、先を予測することが難しい。

サーバントやトランスフォーメーションalリーダーでは十分に力を**発揮**できない。

現場や今後の対策を決めるうえではサーバントやトランスフォーメーションalリーダーは必要になる。

被害を最小限にするためにも技術よりも影響力の方が重要。

圧倒的影響力のあるカリスマ型リーダーシップを用いる。





4-1、総括

- ・警察官全員が身につける→自己リーダーシップ
最初に来た警察官の行動が一般人に影響を与える。
↓
自己リーダーシップをとる必要がある。
- ・専門チームでの捜査→共有リーダーシップ
- ・組織単位での捜査→サーバントリーダーシップ
- ・事件・事故の規模が大きいほど→カリスマ型リーダーシップ





4-2、今後の課題

- ・実践においての検証が**出来ない**。



実際に経験することで研究内容と違うリーダーシップ、研究内容になりリーダーシップが必要になるかもしれない

本当に必要なリーダーシップは何かを考え実践していく事が大切。





終

